

平成 25 年度 長野県立中学校入学者選抜適性検査結果について

教学指導課

I 適性検査問題作成の方針

1 全般的な作成方針

- (1) 学習指導要領に基づき、入学後に求められる思考力、判断力、表現力等をみることができる総合的な問題を作成する。
- (2) 事象を読み解き、身の回りの環境や社会に積極的に働きかけていくことへの適性をみることができる問題を作成する。
- (3) 問題解決のために必要な情報を収集、整理し、筋道を立てて考えたり自分の考えを表現したりすることへの適性をみることができる問題を作成する。

2 各適性検査問題の作成方針と各問のねらい

適性検査 I

[作成方針]

- (1) 人や社会にかかわる事象について、資料、会話文、文章などの内容を読み取り、必要な情報を関連付けて思考・判断・表現する学習の状況をみる。
- (2) 想定された生活場面や学習場面をとらえる中で、課題をつかみ、解決に向けて、思考・判断・表現する学習の状況をみる。

[各問のねらい]

- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能を活用して、情報を整理、選択したり、規則性に着目したりして、判断した内容を適切な言葉で表す。
- (2) 高齢者との交流を計画する場面で、よりよい交流に向けて話し合いをまとめたり、挨拶を想定したりして、係の立場で自分の考えを表す。
- (3) ジャガイモ栽培に関する疑問や複数の資料から、必要な情報を関連付けて特長をまとめたり、野菜の栽培計画を作成したりする。
- (4) 本との出会いによって世界が開かれた経験を語る文章を読み、要点をとらえたり、自分の経験と関連付けて作文したりする。

適性検査 II

[作成方針]

- (1) 自然科学や数理的な事象について、図や表、会話文などをもとに、必要な情報を整理、選択、処理する中で、見通しをもち筋道を立てて思考・判断・表現する学習の状況をみる。
- (2) 根拠や方法及び結果を、図や表、グラフなどにまとめ、振り返ったり解釈したりする中で、事実を関連付けて思考・判断・表現する学習の状況をみる。

[各問のねらい]

- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能を活用して、情報をもとに関係を明らかにし、判断した内容を整理・処理する。
- (2) 川の曲がっているところの内側と外側の流れの速さと働きの違いを見出し、実験結果と事実を関係付けて、外側に護岸ブロックがある理由について自分の考えを表す。
- (3) マツヨイグサの草丈と葉の面積の関係を調べ、他の植物と比較して、日光を浴びる工夫について自分の考えを表す。
- (4) 箱の大きさと荷物の送料の条件を整理して処理し、根拠を明らかにして、手まりが入っているダンボール箱を送る方法について自分の考えを表す。

II 適性検査結果

1 適性検査別平均点

	適正検査 I	適正検査 II
平均点	50.4	42.3

受検者数 男子 221 名、女子 222 名
計 443 名 (5.54 倍)

2 適性検査別小問正答率(%)

適性検査 I

【問 1】

(1)		(2)				
①		②	D	E	F	
A	B				カタカナ	漢字
98.0	96.8	21.2	47.9	19.6	36.3	31.8

【問 2】

(1)	(2)		(3)		(4)
	B・C	D	交流	お茶	
76.1	96.2	73.9	28.7	37.2	42.9

【問 3】

(1)			(2)				(3)			
A	B	C	①			②	あ	い	う	栽培 計画
			D	E	F					
87.6	69.1	95.0	97.7	96.2	55.5	53.3	87.1	68.6	83.7	24.7

【問 4】

(1)	(2)	(3)
77.7	33.9	14.5

適性検査 II

【問 1】

(1)		(2)	(3)	(4)	
①	②			①	②
93.9	32.5	40.8	23.5	71.1	33.2

【問 2】

(1)		(2)		(3)	(4)	(5)
あ	い	内側	外側			
44.0	46.0	50.1	33.4	80.8	84.9	77.0

【問 3】

(1)			(2)	(3)	(4)		
①		②			①		②
あい	う				え	お	
21.9	20.5	17.2	53.5	58.0	75.2	73.1	12.0

【問 4】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
45.8	29.1	37.9	6.1	16.3